

## 平成29年度行政提案型協働事業(平成30年度実施事業)一覧表《最終結果》

No.	事業名	新規・継続	団体名 ／事業担当課	事業総額 ／町に求める負担額	事業の概要
1	登山道(仏果山他)の整備等事業	新規	<b>【団体名】</b> Aichan Adventure 代表者:佐藤 圭介  <b>【事業担当課】</b> 商工観光課	<b>【事業総額】</b> 257,800円  <b>【町に求める負担額】</b> 257,800円	愛川町の山岳環境は、登山客の往来が少ないことなどの要因から、登山道が十分に活用されず、荒れている場所もあるため、積極的な山岳環境の整備と活用を促進し、恒常的に山に人が入る状況を創出する。 <b>【事業内容】</b> 1 登山道、廃道の精査や整備(枯れ枝や、倒木の除去等の軽作業を含む。) 2 イベント開催等(山に親しむ機会の創出:子ども登山、トレイルラン、ハイキング、フィールドワーク) 3 観光促進のためのガイド、見やすい登山マップの作成 <b>【団体の役割】</b> ①造林組合等との交渉 ②各事業の募集と広報活動(作業ボランティア、イベント参加者の募集) ③関連団体、組織への呼びかけと連携(関連団体等と連携し、同時に複数案件の進捗を図る。) ④事業の企画と運営(山に親しむ機会の創出) <b>【町の役割】</b> ①団体の地権者対応への支援 ②関係法令等の情報提供、許認可関係の調整 <b>【提案事業のポイント】</b> ・単に、登山道の整備・維持管理に留まらず、整備後の活用方策も念頭に置いており、登山道、廃道の精査や整備、枯れ枝・倒木の除去などの作業時や、イベント開催時には、その準備作業も含め、作業ボランティアを募るなど、愛川の山の整備に多くの人達に関わりを持たせるなど、登山客の誘致効果も期待される。 ・地元山岳会や自然環境の保全を目的に活動している団体等との連携により、情報共有することで、山岳環境の活用や、町の豊かな自然を守ることにつながり、地域資源の涵養に資する効果も期待される。
2	町観光キャラクター「あいちゃん」サポーター事業	新規	<b>【団体名】</b> 神奈川県立愛川高等学校バレーボール部有志 代表者:田中 都司  <b>【事業担当課】</b> 商工観光課	<b>【事業総額】</b> 120,000円  <b>【町に求める負担額】</b> 120,000円	町観光キャラクター「あいちゃん」を活用し、町の魅力(観光、文化、歴史等)を県内外にPRするもので、町内で学ぶ高校生有志(若者)のアイデアを十分に活かし、愛川町の知名度を高めるもの。 <b>【事業内容】</b> 1 町の歴史・文化などの学習(町若手職員と共に、「あいちゃん」のPR方法を検討) 2 「あいちゃん」の動き、しぐさなどの検討・確認、アテンドの練習 3 各種イベントへの出演 4 年間活動報告と成果の発表 <b>【団体の役割】</b> ①「あいちゃん」の着ぐるみを着用してのイベント出演及びアテンド(ステージイベントでの観光PRを含む。) ②「あいちゃん」の効果的なPR方法の検討・提案 ③地域情報の提供(あいちゃんツイッター地域情報の充実) <b>【町の役割】</b> ①イベント会場への送迎(着ぐるみ着用役、アテンド役の高校生有志(若者))及び現地での具体的な業務の指示 ②町の基本的な観光情報の提供 <b>【提案事業のポイント】</b> ・高校生有志(若者)と行政(町)との協働による、観光PRは珍しく、インパクトがある。 ・町の魅力をPRするためには、町の事を知らなければならず、高校生有志(若者)の地域貢献が学びとつながり、学ぶことで、町への愛着の深まりが期待される。 ・協働事業は、町との対等な立場で実施されるため、高校生有志(若者)の自立心や自主性の発達が期待される。

## 平成29年度行政提案型協働事業(平成30年度実施事業)一覽表《最終結果》

No.	事業名	新規・継続	団体名 ／事業担当課	事業総額 ／町に求める負担額	事業の概要
3	八菅山いこいの森 樹名板等作成事業	新規	【団体名】 サークル愛川自然観察会 代表者:山口 勇一	【事業総額】 170,380円	<p>八菅山いこいの森の生物多様性に富んだ生態系の紹介と、その保全を目的として、観察路沿い(八菅神社の女坂沿い)の樹木への名板の取付けと、要所に説明板を設置し、文化的価値と、町民共有の財産である、いこいの森の魅力をPRするもの。</p> <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 樹木への名板の取付け…(新規:行政提案)</li> <li>2 生物多様性に富んだ生態系を紹介する説明板の設置…(新規:行政提案)</li> <li>3 あおぞら館の展示物の継続的更新…(継続:みずとみどりの青空博物館の機能を高める事業)</li> <li>4 季節ごとの自然観察会の開催…(継続:みずとみどりの青空博物館の機能を高める事業)</li> </ol> <p>【団体の役割】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自然動向の情報収集と町民目線での資料の公開</li> <li>②施設の本来的機能の点検、並びに維持・発展に寄与</li> <li>③本団体の人材活用と町民の生涯学習機会の充実(樹木名板の取付け及び説明板の設置)</li> <li>④季節ごとの自然観察会の開催</li> </ol> <p>【町の役割】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①協働による課題の共通認識、公共サービスの充実</li> <li>②事業の深化と施設や機能の充実</li> <li>③費用の効果的・効率的な執行</li> <li>④団体の地権者対応への支援</li> </ol> <p>【提案事業のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案団体は、町内で自然環境の調査・保全を目的に積極的に活動しており、団体の人材、専門的知識並びに収集蓄積された資料を活用した情報発信が図られる。</li> </ul>
			【事業担当課】 都市施設課	【町に求める負担額】 170,380円	
4	地域の安全・安心 を皆で支える事業	継続	【団体名】 NPO法人「防犯パトロール ブルーライン」 代表者:佐藤 清孝	【事業総額】 344,000円	<p>地域の各種団体(自治会、育成会、子ども会等)の行う、防犯パトロールへの支援及び町の防犯パトロールとの連携などにより、町内における防犯活動の内容を底上げし、安心・安全のまちづくり推進に寄与する。</p> <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域の各種団体の行う防犯活動への支援(H30.4～6月支援要望の取りまとめ H30.6～H31.3月支援実施)</li> <li>2 防犯・不審者情報の効果的な発信</li> </ol> <p>【団体の役割】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域の各種団体が実施する防犯パトロールへの支援(車載拡声器による広報啓発等)</li> <li>②町の実施する防犯パトロールへの支援</li> <li>③団体独自の町内パトロール時の必要な対応(町の青パトとの連携等)</li> <li>④防犯・不審者情報及び防犯パトロールの実施状況等の情報発信</li> </ol> <p>【町の役割】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域の各種団体からの支援要望取りまとめ及び連絡調整等(この事業の周知を含む。)</li> <li>②防犯活動時の立会い等</li> <li>③会議室などの提供</li> <li>④防犯関連団体との連絡調整その他必要な支援</li> </ol> <p>【提案事業のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保有するパトロール車両、多様な情報発信手段など、提案団体の専門性が活かされる。</li> <li>・町が地域の各種団体を直接、支援するのではなく、提案団体が支援することで、行政依存になりにくいことが期待できる。</li> </ul>
			【事業担当課】 住民課  (行政推進課)	【町に求める負担額】 133,000円	
合 計			【事業総額】 892,180円		
<提案件数> 4件 内訳:新規3件、継続1件			【町に求める負担額】 681,180円		